- ●海外宝くじを国内で購入することは法律で禁止されています。また、当選すれば賞金を送るというシ ステムでは、本当に宝くじを購入しているのかすら分かりません。しかし、外国と日本との国際間取 引となるため,たとえ,違法行為があったとしても,それを防止する有効な対策はないことから,消 費者の被害救済は難しいのが実情です。
- ●海外宝くじ業者の窓口は国内にないことが多く、連絡は国際郵便や FAX でのやり取りしかできない 業者も多くみられます。この場合,消費者が返金等について業者と直接交渉することは,時間的・距 離的にも困難です。
- ●クレジットカード決済などを利用している場合、1回だけの決済のつもりが毎月引き落としがある、 決済した覚えのないところからの引き落としがある、などトラブルに巻き込まれる可能性もあります。 海外宝くじ業者は日本のクレジットカード会社とは直接加盟店契約を結んでおらず、代金請求は国際 カードブランド会社の決済センターを通じて行われます。そのため、消費者が利用するクレジットカ ード会社と交渉しても解決できないこともあるのが現状です。
- ●「いつか必ず当たる」と強く信じお金をつぎ込んで しまう人もいます。また、料金支払いが容易であり、 1回当たりの送金額も数千円程度と手軽であるという ことも、海外宝くじにのめり込む一因であると思わ れます。このようなことから、長期間に渡ってお金 を支払い続け、被害額を正確に把握することが難し いのが現状です。



被害にあわないためのアドバイス

- ●海外からの DM (ダイレクトメール) の誘いは安易に信用せず、 絶対にお金を支払わないようにしましょう。
- ●クレジットカード番号などの個人情報は安易に記入しないように しましょう。
- ●不審な封書が届いたら市民総合相談課 (市民生活センター) に相談しましょう。

CONGRATULATIONS! (おめでとうございます

(参考) 独立行政法人国民生活センター発行「たしかな目 2007 年 11 月号」

